

令和元年6月11日（火）

プール開きを来週に控え、昨日、福岡市民防災センターの救急法指導員をお迎えし、全職員で救急救命法の研修を行いました。トレーニングキット（簡易な人体とAEDの模型）を使い、傷病者の発生～救急隊が到着するまでの流れについて実技演習をしました。



福岡市では、年々救急車の出動要請が増えており、去年は8万件以上出動したそうです。回数が増えることにより、119番通報から救急車が到着するまでの時間が長くなり、現在は平均7分半程度かかるそうです。もしもの時にはその7分半、私達が胸骨圧迫やAEDを使って命をつながなくてはなりません。研修したことを忘れず行動することはもちろんですが、まずは事故が起こらないようにプールだけでなく、体育や校外学習なども万全の準備を怠らないことの大切さを改めて感じました。